

忽七版

東京女子高等師範學校
教授・附屬幼稚園主事

倉橋惣三先生新著

▲四六版三百餘頁頗る美本
▲口繪十六枚・挿繪多數入
▲保育法の實際實景紹介
▲定價二圓五十錢送十六錢

幼稚園保育法と眞諦

○倉橋先生保育眞諦

日本のフレイベル倉橋先生の代表的名著茲に出來。發行後僅に數ヶ月にして既に七版を突破し、我が國保育界の明星として一齊に大歡迎を受け愛讀又熱讀さる。東京女高師附屬幼稚園の園児等は先生を「おぢさん」と稱して相敬慕す。此の倉橋先生の保育法の眞諦即コトを悉く本書に披瀝さる。

○現代の保育法原論

本書は懇願數年初めて完成されたる新著にて、現代に於ける最も完備し且系統も保育法原論である。倉橋先生は稀に見る純眞の教育者著書少く系統も力作は本書のみ。

○保育界耆宿の力作

著者は幼児教育並に家庭教育の第一人者として曩に長くも此點に御關心深き 兩陛下の御前講演の榮に浴され又屢各宮家よりの御招聘ある我國保育界の耆宿にて、本邦第一の東京女高師附屬幼稚園主事文部省社會教育官とを兼ねられ人間味豊かな人格者として定評の士である。

本書の特色

- 第一篇 幼稚園保育法の眞諦
 - 一 教育に於る目的と對象
 - 二 幼児生活と幼稚園生活形態
 - 三 生活へ教育を
 - 四 幼児生活の自己充實
 - 五 幼児生活の充實指導
 - 六 幼児生活の誘導
- 第二篇 保育案の實際
 - 一 無案保育
 - 二 保育案の意義
 - 三 誘導の保育案
 - 七 幼児生活の教導
 - 八 幼児生活の陶冶
 - 九 幼稚園に於る保姆の位置
 - 十 保育案の實際
- 第三篇 保育過程實際
 - 一 幼稚園の朝
 - 二 自由遊びから仕事へ
 - 三 個分團組
 - 四 個の時間割
 - 五 生活態度による分團組
 - 六 流れゆく一日
 - 七 流れの向け方
 - 八 生活の偶發性
 - 九 日々の實際生活の尊重
 - 十 おかへり
 - 第四篇 保育誘導案の試み
 - 一 旅へ
 - 二 人形の家を中心として
 - 三 大賣出し
 - 四 わたし達の自動車
 - 五 特急列車こうさき號

東洋圖書株式會社

東京市神田區保町一丁目

振替東京一〇三七番